

# 「明日咲くつぼみに」

## 1. 「明日咲くつぼみに」

右掲は三波春夫さんの最後の歌「明日咲くつぼみに」(作詞:永六輔)の歌詞で、晩年の三波さんに奥様が「短い歌を」と永六輔さんに依頼して出来た僅か1分余りの曲です。私は「明日咲くつぼみよ 今日の生命を」で締めくくっているとこが気に入っています。現代は若い方の自殺が多くなっていますが、「明日を信じて今を懸命に生きよ」と言っているように思っていました。晩年、ガンの闘病生活の中で「逝く空に 桜の花があれば佳し」と辞世の句を詠んでいるとの事なので、闘病中の命を詠っていると分かりました。今、見える「つぼみ」が開花するのを楽しみに、今日、生きている事に感謝して懸命に生きることが大切と教えて下さっていると思っています。

想い出の ふるさと  
想い出の人々  
明日咲くつぼみよ  
今日散る花びらよ  
想い出の笑顔よ  
想い出の涙よ  
昨日 今日 明日  
過去 現在 未来  
時は還らず 世は移りゆく  
いつか別れの言葉 さよなら  
想い出のあの町  
想い出のあの人  
明日咲くつぼみに  
今日の生命を

私は、74才になり、昨年10月に大動脈瘤の手術で人工血管になっていますが、その予後に「3大悩み」(めまい・便秘・薬疹)が出て苦しみました。お蔭様で表面上は毎日元気に過ごしていますが、思うように回復しない悩みが続いています。その回復の遅さに焦る気持ちが湧くのですが、「一日一生」という言葉を思い出し、その日の体調に応じて一生懸命に生きようと悟ったのです。三波さんは病室から桜のつぼみを見て開花するのを見る為に今日の命を一生懸命に燃やされたと思い、私も命を燃やしたいと思っています。

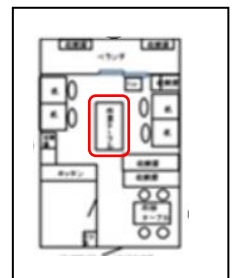
## 2. 「百歳現役」

右掲は、私自身のコンピュータ占いのアウトプットです。「信じる者は救われる」と言いますが、このグラフの推移に過去を当てはめるとピッタリの事が起こっていたのです。マクロに見ると幼少期は親が大阪に出て来たのでどん底状態であり、小2の時に母がお好み焼き屋を始めて家庭的に余裕が出て私の運勢も中1をピークに上り、その後、高校・大学時代は病気との闘いであり、就職をしてコンピュータの道を突き進み、42才('91年)の時に関連会社へ行き3年後に独立して今の会社を立ち上げ、52才('01年:9. 11テロ事件)がどん底で、その後反転して、62才('11年:次男が結婚)の時にピークを迎え、その後、停滞気味ですが赤い矢印は72才('21年)の時であり、この時、事務所のレイアウト変更を起さない山口さんが社内で働くようになりシステム開発力が加わり「運氣」が良くなり新しい展開に向かっているのです。



私は昨年10月に大動脈瘤の手術を受け人工血管になり大動脈解離のリスクはなくなっています。現状は血圧の管理だけで済んでいますので、概ね健康に過ごしています。社長をしていますが、すでに年金も頂いており金銭面では会社から所得を多額にとる必要がない状態です。また、2025年に事業承継を予定していますが、息子の邪魔をしないように心がけて仕事を続ける心算でいます。兼ねてから「百歳現役」と宣言していますが、自分の出来ることを通じて世間に貢献して行きたいと思っています。

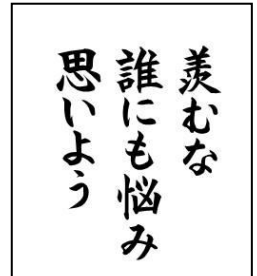
社会的には、右掲が事務所のレイアウト図ですが、'21年レイアウト変更して空間をつくり、赤で囲った作業テーブルを活かして土日に事務所のあるマンションの老人会に開放して茶話会のお世話をしています。両肘を開くと8人掛けになるので、8名の方々がトランプゲームを楽しんでおられます。その他にも、パソコンで書類づくりを頼まれたりして得意の事で貢献して喜ばれています。仕事と地域貢献の両面で「百歳現役」を目指して、「運動」x「食事」x「社会」→「健康」の公式で毎日を一生懸命に過ごそうと考えています。



### 3. 曇り時々晴れ

しかし、幾ら「百歳現役」と標榜しても現実の体力は年々低下する事は現実として受け止める必要があります。アンチ・エイジングで「運動」x「食事」x「社会」→「健康」と公式化していますが、何よりも「運動」が基本です。最低でも自分で歩けることが必須なので、自宅と事務所の2往復で街ジムを加えながら月200kmのウォーキングを目指したいと思っています。歩くと胃腸が動くので食欲が出るので食欲も出て健康のベースを作ってくれます。残るは精神面での健康ですが、これも仕事と地域貢献で維持できると考えて実行しています。

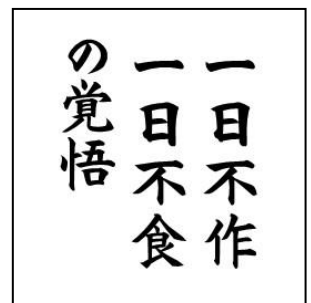
右掲は他人と比べる自分を戒めたものです。例えば、大金持ちでも食べるものに大差ない、返って、土光さんのように粗食の方が多い位、また、今の時代は多分徳川家康が見たら羨むような豪華さと思います。また、悩みのない人はいないのです。自分の悩みを特別と思うから大変なので、「ケセラセラ」で前向きに生きて行く方が楽しいのです。だから、人の世話にならないように自力で生きて行ければ最幸と思うようにしています。



「曇り時々晴れ」は子供の頃に京都のお寺で知った言葉ですが、たまに晴れの日があれば「雲外蒼天」を一瞬でも味わえると思っています。この「たまの晴れ」をどうメイクするかが課題です。最近、老人会の方々と3連休の時を基準に外食を楽しんでいます。近所の中華屋さんで「コース料理」を企画して、2000円程度でワイワイガヤガヤを皆で楽しむようにしています。あとは、毎日のプチ晴れは入浴時に俵星玄蕃を歌って入浴時間をコントロールしながら気分を三波さんにする事です。「おお、蕎麦屋かあ〜」をうまく表現できるように工夫を心がけて脱マンネリを図っています。ゆっくりと入浴し、その後、マッサージ器で疲れを取って眠るようにして健康を維持しています。

### 4. 継続は力なり

右掲は禅の教え「一日不作、一日不食」で「一日なさずば、一日食らわず」と読みます。船井総研の講師宮内先生は「一日の食い扶持と明日への蓄え」といい毎日ルール化することを教えてくれました。若い時にIBMは「知識データベース」と呼び、資料をまとめることを教えてくれましたが、95年創業以来、これを「着実・前向き・具体的」でやってきました。



私は、ムダも明日への蓄えになる事ならOKと考えていますが、オタクな性格なので異業種交流会などへ積極的に参加する方ではなく、結果的には「紹介」を受けて人脈を活かすタイプです。最近、結構、ムダも必要と思うようになりました。三男には中小企業家同友会の青年部会に所属してもらって「役」を頂き、貢献するように勧めています。私自身は、京都のお客様が同友会活動に熱心だったので、何も知らずに批判するのは失礼と思い、京都の全研に参加して「支部長するなら経常20%を確保せよ」という言葉に感銘して入会しました。所属は大阪ですが、京都の昼例会にも参加して、若い方々と交流ができました。この経験で同友会活動をいまも続けています。支部例会ではテーブル討論がありテーマについて各自の意見を交わす訳で、聞く耳を持つようになりました。

右掲は朝のルーチンですが、ほぼ、このパターンで一日をスタートしています。「凡事一流」という言葉がありますが、ある意味、「凡事」＝「ワンパターン」とも言えます。「工程で品質を作り込む」という教えでは喫茶店で新聞を読むようにして、情報の整理をしてから 出社という流れでワンパターンの生活をしています。ともかく、「続けられること」＝「才能」と自負して、出来ることを続けるようにしています。

